

ふじみ町 公民館報

No. 732

令和6年 8/1

発行 富士見町公民館
編集 公民館報編集委員会
TEL 0266(62)7900
FAX 0266(62)7611

〒399-0211

長野県諏訪郡富士見町富士見 3597-1

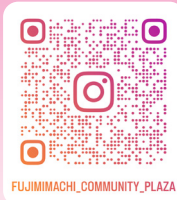
コミュニティ・プラザ内 富士見町公民館

ホームページ: <https://www.town.fujimi.lg.jp/site/kouminkan/>

Eメール: kouminkan@town.fujimi.lg.jp



公民館
Instagram



FUJIMACHI_COMMUNITY_PLAZA

コミ・プラ マスコットキャラクター
『ホッホ君』

千野敏子 生誕100年



女学生時代の友人と千野敏子 (中央)



コミプラ前の記念碑



コミプラ開設時

高原晴雨

我が家の北側には、神社に通じる隣村の区有林があり、いろいろな恩恵を受けてきた。

そこには樹齢100年を超える松の並木や直径1mものケヤキの他、クルミ、コブシなどの大きな樹が何本もあり、その南側にはあまり車の通らない農道もあるため、朝夕の犬の散歩には小鳥の声を聞きながら利用していた。クルミの木にはリスが時々顔を見せるので、リスとの出会いも楽しみの一つだった。林の中には珍しい植物もあり、秋にはキノコも顔を出すために、時々犬と一緒に林の中に入ってそれらを探した。

そんなある日、伐採業者から「北側の林を切るので騒音がしますが・・・」との挨拶があった。間もなく通行止めの看板が立ち、大型の重機が入って伐採が始まった。神社への参道なので、せめて樹齢百年越の松ぐらいは残すのかと思いきや、伐採業者に聞くと全ての木を切って整地し、カラマツを植えるという。

後で聞いた話だが、皆伐すれば国からの補助金があるため土地所有者には費用が掛からないらしい・・・今では業者に依頼して木を切ると、大きさにもよるが1本何万円もかかるという。一方、最近ではベニヤ板などに加工したり、チップにしたりと樹種を問わず材木の需要が多いそう

で、早朝から大型のトラックで何台も運び出していた。そして景観はすっかり変わってしまった。伐採後は整地され、あまり歓迎されないカラマツが植えられた。

神宮外苑のイチヨウ並木も伐られることが問題になっており、富士見町でも大規模伐採が行われているけれど、山林の機能や周辺住民の要望を無視した施策には疑問を感じる。また、今年6月から「森林環境税」が一人年間千円徴収されることになったが・・・はて？

中村守男

目次

- P2~3 【特集】 真実を求め続けた「千野敏子」
- P4 生涯学習課講座等年間スケジュール
- P5 第58回富士見町総合文化祭参加者募集
- P6 図書館・博物館コーナー

真実を求め続けた 千野敏子

富士見町コミュニティ・プラザは、平成6年に開館し、今年で三十周年となります。町の文化発展・文化交流の中心拠点として、また生涯学習の場としても多くの町民に親しまれている施設です。建物の前庭には有名な尾崎喜八の「富士見に生きて」の碑の他に、千野敏子の碑があります。あまり知られていない、この碑にまつわる『葦折れぬ』の作者、千野敏子について調べてみました。

千野敏子について

大正13（一九二四）年、諏訪郡上諏訪町（現諏訪市）にて、両親共に小学校教師の千野俊次、のぶの二女として生まれる。

諏訪高等学校（現諏訪二葉高校）本科に進学し、三井為友氏（富士見村大平出身）の授業を受け、三木清『人生論ノート』の輪読会にも参加していた。国内外の数多くの文学作品を読み、影響を受けると共に、補習科一年生のときから、日記とは別に、自由な思索を「真実ノート」と名付け、書き始めた。

昭和17（一九四二）年、諏訪高等学校補修科修了後、富士見国民学校に代用教員として赴任する。栗生地区に下宿し、自炊生活を送っていた。

昭和21（一九四六）年五月、過労と衰弱のため教壇にて倒れ、八月二日 腸閉塞により22才で逝去し、諏訪市温泉寺に埋葬された。回復がおぼつかないほど身体が弱っていたのは、「真実」を追い求めるあまり、戦後の食糧難の時代「闇買」を拒否して栄養失調に陥っていたためで、自らに厳しい生き方を示したものとされている。



教員時代の千野敏子

『葦折れぬ』について

千野敏子が、「よき友を得たい 真実の世界に住みたい これが、現在の私の最も切なる願望である。そして私はいかにすれば、この願望がかなえられるかを知らない。」と扉に書きつけた「真実ノート」は、終戦の翌年病に倒れるまで続けられた。

- ・ 真実ノート 第一冊
< S 16・8・S 16・11 17才 >
- ・ 真実ノート 第二冊
< S 16・11・S 17・2 17・18才 >
- ・ 真実ノート 第三冊
< S 17・2・S 17・8 18才 >
- ・ 真実ノート 第四冊
< S 17・9・S 21・3 18才・22才 >

この「真実ノート」全四冊は、敏子の死後、両親の意思を託された女学校時代の恩師三井為友氏により『葦折れぬ 一女学生の手記』（大月書店 初版一九四七・九・二〇）という遺稿集として刊行された。

三井氏は、パスカルの「人間は葦である。考える葦である」という言葉を思い出し、この「考える葦」が挫折してしまったのだから、本の題名を「真実ノート」ではなしに『葦折れぬ』にしようと考え、……戦争という嵐が無残にも「考える葦」を折ってしまったという点に重点を置いた……とのことである。

初版本は表紙に文字を入れず、「ドガの踊子」の原色画だけで、扉の文字の背景に淡青色写真によるロダンの「パンセ」、目次の裏にパスカルの言葉、親しい二人の友人と一緒に写したものと絶筆の写真とを末尾に入れ、極めて粗末な紙に

印刷したものであった。

多くの反響を呼び、表紙に活字文字を入れたり、末尾の写真の前に移したり、表紙や背文字を三井氏の手書き文字にする等の細かい変更がなされ、重版が何度も出された。

さらに、全国の多くの読者から本文中に出てくる日記も是非公開してほしいとの要望に応え、敏子の両親に懇願し、日記帳と栗生自炊日記の中からごく一部と作文等を付けた増補版が発行された。これには敏子の女学校時代の友人矢崎滯子さんの「真実への情熱」と、諏訪出身の作家藤森成吉氏の跋（あとがき）、三井氏の「おぼえがき」も書き加えられた。



大月書店版

大月書店からは一九五五年に大月新書の一冊にもなり、一九六三年には学習研究社の「高一コース」別冊付録として抄本が出された。

その後、童心社から「若い人の図書館」双書の一冊として、新しく『葦折れぬ―千野敏子真実ノート』

〔三井為友・編 初版一九七三・六〕
が刊行され、作家の早乙女勝元氏
が「私の青春の日の少女―読者と
して」というあとがきを寄せている。



童心社版

記念碑について

敏子の遺言にもなった絶筆の碑
を建てようという声は初版が出て
まもなく起こり、賛同した上諏訪
の笠原書店主が店先に募金箱を置
くと、多くの人の協力があった。
また、発行元の大月書店社長も必
要経費の半分以上を持ったという。
絶筆の文字を入れることは困難
なため、本文中の言葉を組み合わ
せた単純なものを右に刻んだ。背
面には、敏子の略歴、建碑のいきさ
つが書かれ、末尾には、「時一九四
八年十月 撰ハ三井為友 書ハ鈴木
竹影 刻ハ守屋由吉ナリ」と記され
た。

最初の碑文

真実はかなしきかな。
それはついに反逆視せられ

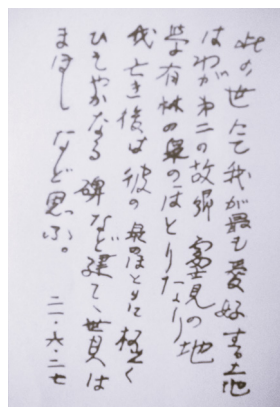
本人が絶筆で希望した「学有林の
泉のほとり」は、富士見村所有地に
あり、学有林の間伐材は学校の薪
に、畑は食糧増産のため、子ども達
や先生が耕していた場所であつた。
けれども、戦後、開拓村として
入植が行われ、森が伐採されて大
きな畜舎が建ち、以前とは趣も変
わっていた。そこで、富岡分村（現
南原山区）共有地の氏神社の裏手
（現南原山区グランド付近）に富士
見小学校を望む向きで建てられた。



最初の碑

後に、台風被害で氏神社殿崩壊
による移転や、多数の碑文拓本採
取で碑面が摩耗のため、碑の再建
がなされた。絶筆の文字をブロン
ズの浮き彫りにし、一九六五年泉
に近い場所（南原山区久保田さん
私有地）に移転された。

新たな碑文（絶筆）



さらに、泉が埋め立てられた後
の一九八四年、富士見小学校に移
され、「草折れぬの碑をめぐって」
として、敏子の略歴と記念碑の説
明が書かれた副碑も添えられた。



富士見小学校へ移設の碑

その後、コミュニティ・プラザ
開館を機に、噴水の脇に建てら
れ、公園整備工事中は一時解体保
管となっていたが、ゆめひろば富
士見完成後、現在の場所に再設置
された。

碑前献花式

コミュニティ・プラザに再設置
後、令和4年から命日に碑前献花
式が行われるようになった。これ
は、富士見を愛した千野敏子の冥
福を祈り、恒久平和への誓いを新
たにするものとして、町教育委員
会関係者や町民有志が参列してい
る。今年も、八月二日（金）に開催
を予定している。

あとがき

コミュニティ・プラザ内の図書館開
設準備のための、図書整理の手伝い
をする中で、千野敏子の『草折れぬ』のこ
とを知り、気になっていました。あの
様々な制約があつた戦時下にあつて、
真実を追究し続けた千野敏子の思いを
後世に伝えていきたいものです。

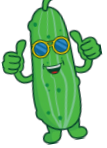
〈参考資料〉

- 「富士見町誌 下巻」
- 「草折れぬ 追想」
- 「夭折の天才群像」
- 「信州異端の近代女性たち」
- 「世界平和への祈り」
- 「戦後六十周年戦争体験記」
- 「写真でかたる二葉百年のあゆみ」
- 「千野敏子メモリアルフォト」
- 「富士見高原の文学碑を訪ねて」
- 「富士見高原愛好会会報第13号」
- 「南原山」
- 「信濃毎日新聞（H29・10・31）」
- 「戦時下 千野敏子の青春」



イベント・講座一覧

現時点での予定です。変更になる場合もありますので随時更新していきます。

時 期	企 画	備 考	主 催	実施予定
 8月 	夏休みボードゲーム	小学生向け (jampopo)	公民館	8月5日
	夏の縄文体験	縄文体験	文化財係	8月3・4日
	ぼろ機織り体験	ぼろ機織り体験	文化財係	8月3日
	建館50周年記念②公演	アートパフォーマンス「混沌の首」	文化財係	8月3日
	建館50周年記念③上映会	「縄文にハマる人々」上映 山岡監督トーク	文化財係	8月24日
	絶対おいしい漬物講座	漬物 (矢沢里子先生)	公民館	8月23日
 9月	堰探検隊 程久保	程久保堰 (関先生)	公民館	9月
	青空ピラティス		公民館	9月
	スマホカメラ講座(仮)		公民館	9月14日
	建館50周年④講演会	北村皆雄 先生 講演	文化財係	9月21日
	漢の料理教室①		公民館	9月
 10月	漢の料理教室②		公民館	10月
	ダンスワークショップ②	ダンス (講師未定)	公民館	10月
	高原の縄文王国収穫祭	収穫祭	文化財係	10月19日
 11月	漢の料理教室③		公民館	11月
	建館50周年⑤音楽演奏会	交流音楽会 (デーノタメ遺跡)	文化財係	11月4日
	野沢菜漬講座	漬物 (矢沢里子先生)	公民館	11月中旬
	建館50周年⑥座談会	みんなで語ろう! 井戸尻	文化財係	11月23日
	文化財ウォーク	内容未定	文化財係	11月
 12月	ペン字教室①		公民館	12月
	ペン字教室②		公民館	12月
	そば打ち講座		公民館	12月
 1月 春	書初大会		公民館	1月
	ダンスワークショップ③	ダンス (NAOKI先生)	公民館	1月
2月	ドラマに習う手話講座		公民館	2月
 3月	ゴタゴタしない! 終活講座!		公民館	3月
	春休み子ども工作教室		公民館	3月

第58回 富士見町総合文化祭 参加者募集

- と き 作品展示祭 11月2日(土)～ 4日(月)
芸能音楽祭 11月3日(日・祝)
- と こ ろ 作品展示祭 富士見町コミュニティ・プラザ(富士見町公民館)
芸能音楽祭 富士見グリーンカルチャーセンター
- 参 加 資 格 富士見町に住んでいる方ならどなたでもご参加できます。
各地区のサークル、学校、団体あるいは個人の方、お気軽にどうぞ！
文化協会加盟の方は、各加盟団体を通じて参加してください。
- 申 込 期 限 **9月9日(月)※厳守**(郵送・FAX・メール可)
作品展示部門…下記申込書に必要事項をご記入のうえ、町公民館へ提出してください。
芸能音楽部門…参加希望の方は、直接、富士見町公民館(☎62-7900)へ
お問い合わせください。
- 実行委員会 9月20日(金)午後7時～ コミュニティ・プラザ2階大会議室
- 作品展示部門

部門名	内 容	出品数
芸術等の部	絵画・写真・書道・華道・盆栽・手芸・彫刻・陶芸・工作・活動発表 ほか	1人2点まで
趣味の部	趣味の発表、情報交換の場としてご参加ください。 ※1mを超える大きな作品等は、事前に町公民館にご相談ください。	1人2点まで
俳句の部	季題は自由雑詠、未発表作品に限ります。	1人3句まで
短歌の部	必ず短冊等で装飾してください。未発表作品に限ります。	1人1首

● 芸能音楽部門

芸能の部	舞踊・民謡・ダンス・詩吟 ほか	
音楽の部	合唱・コーラス・吹奏楽・器楽演奏 ほか	

※その他イベント企画は、町公民館に事前にご連絡ください。

問 申込 コミュニティ・プラザ内 富士見町公民館 〒399-0211 富士見町富士見3597-1
☎ 62-7900 FAX 62-7611 Eメール kouminkan@town.fujimi.lg.jp

切り取り線

●芸術等・趣味の部

申込書（展示作品ほか）

氏名 _____ 住所 富士見町 _____ 番地 _____

電話 _____ FAX _____

種別 _____ 題名 _____ 作品数 _____ 点 _____

作品大きさ 縦 _____ cm × 横 _____ cm (高さ _____ cm) 団体・グループ名 _____
(あれば記入)

●**俳句の部**（たて書き、1人3句以内、季題自由）

[illegible]



『後藤 吉久が描く絵と物語 ～ボクのひみつの森～』

期間：7月5日（金）～8月25日（日）

岡谷市出身の後藤吉久氏のアート作品を展示します。『ボクのひみつの森』という物語は少年の心の奥底にある森が成長していくお話です。今回のテーマは『心の森』です。ゆっくりと物語を読みながら作品をご覧ください。



博物館

■場 所 富士見町高原のミュージアム（コミ・プラ2階）

■開館時間 午前10時～午後5時（入館 午後4時30分まで）

■休 館 日 月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）⇒右上の招待券を切り取ってお持ちください。町内1家族まで無料にてご覧いただけます。

■入館料 大人 300円、子ども150円

諏訪地域の小中学生は無料

図書館
博物館 コーナー

☎62-7930（図書館・博物館）

新着おすすめ Book

★電話・webまたはカウンターでご予約ください

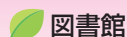


『バタン島漂流記』 小説 西條 奈加 著

江戸時代。船大工を志すものの挫折し、水夫に鞍替えした和久郎は、屈折を抱えながらも廻船業に従事していたが、ある航海の折、船が難破してしまう。

大海原を漂うこととなった船乗りたちに絶望的な試練が襲う。

荒れ狂う海と未知の島、そして異国の民。史実に残る海難事故を元とした海洋冒険小説。



図書館

■開館時間／通 常・・・午前9時30分～午後6時

火曜日・・・午前9時30分～午後7時

■URL <https://www.town.fujimi.lg.jp/site/library1/>

白抜き・・・休館日 ★印・・・イベント実施日 □・・・20冊貸出

	日	月	火	水	木	金	土
8月					1	2	3
	★4	5	★6	7	8	9	★10
	11	12	13	14	15	16	17
	★18	19	20	21	22	23	24
9月	25	★26	27	28	29	★30	31
	1	★2	3	4	5	6	7
	8	★9	10	11	12	13	14
	15	16	★17	18	19	20	★21
	22	23	★24	25	26	★27	28
	29	★30					



富士見町図書館HP

おはなし会（火曜日）

8月 6日 おばけのおはなし 午前11時～
13日 山のおはなし
20日 おはなしいろいろ
27日 野菜のおはなし・誕生会

おはなし会（土曜日）「ふじみ子どもの本の会」ほか

8月 3日 夏の楽しみのおはなし 午前11時～
10日 そらのおはなし
17日 むしのおはなし
24日 英語のおはなし会
31日 今日のおはなしなあに

図書館イベント情報

●8月18日（日）図書館上映会

「げんきげんきノタン

～きらきらシャンシャンおほしさま～

時 間：午前11時00分～（上映時間30分間）

「トムとジェリー ～ジェリー街へ行く～」

時 間：午後1時30分～（上映時間60分間）

定 員：60名（先着順）

会 場：コミュニティ・プラザ AVホール

対 象：小学生以下

※小学生未満は保護者同伴をお願いします。

参加は無料です。

問合せ：富士見町図書館 電話 0266-62-7930

博物館イベント情報

●8月10日（土）後藤吉久さんによるギャラリートーク&ワークショップ

「後藤吉久さんによるギャラリートーク」・「ワークショップ」誰でも楽しめるインクアートを体験できます
インクアートを素敵な世界をつくらう！

会 場：富士見町高原のミュージアム

時 間：午前中随時

予約不要。入館料のみでご参加いただけます。

会 場：コミュニティ・プラザ 2階大会議室

時 間：午後1時～3時30分

※予約不要・参加費無料・出入り自由。お気軽にご参加ください

問合せ 富士見町高原のミュージアム 電話 0266-62-7930